

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【桑原中学校】

<第1学年：自然災害と防災>

1年生は、「地域を知る」をテーマに、地域の歴史や自然について理解を深める学習を行った。校区には、桑原中学校を含め、土砂災害警戒区域に指定されている場所がある。防災への意識を高めることを目的に防災学習に取り組んだ。

調べ学習では、まつやま総合防災マップを使い、自分たちが住んでいる桑原校区の現状や、災害の原因や避難時の注意点をまとめ、防災への意識を高めた。

避難行動について考える機会として、生徒一人一人がマイタイムラインを作成し、自分の命を守るためにどう行動するかを整理した。また、学んだことを家族に手紙を書くことで、自分だけでなく、大切な誰かの命も守ろうという意識を高めることができた。今年度11月に土砂災害特別警報が発令され、教室で待機しているときに、生徒が学習した内容を思い出しながら生活の場面ごとの避難行動について話し合う様子も見られた。



<第2学年：職場体験学習>



2年生は、「地域から学ぶ」をテーマに、自己の将来について主体的に考える力を養い、職業についての理解を深め、勤労観、職業観を育むために、職場体験学習を行った。

事前学習として、生徒一人一人が興味を持っている職業について調べ学習を行い、働くことへの関心を高めるとともに、職場体験学習への意欲付けとした。

2学期には、校区や周辺の事業所に出向き5日間の職場体験学習を行った。職場体験学習を通じて事業所の方々の生き方に触れ、職業の多様性や今後の生き方を考えるよい機会となった。普段の学校生活では経験できない、多様な立場の人と関わるといった体験によって、言葉遣いや挨拶の重要性を体感し、今後の生活に生かそうとする意欲を高めることができた。

職場体験学習後には、新聞を作成し、活動の振り返りを行った。